

お手入れのしかた

- キャビネットや操作ボタンなどが汚れたら、柔らかい布でから拭いてください。汚れがひどい場合は、水で布を湿らすか、中性洗剤を少し布につけて拭き、その後にから拭きをしてください。
- シンナー やベンジン、アルコールなどは使わないでください。変質したり、塗料がはがれることがあります。
- ACアダプターのプラグにはこりがたまると、発火する危険があります。家庭用コンセントから抜いて時々清掃してください。



シンナー、ベンジン、
アルコールは
使わない

保証書とアフターサービスについて

保証書について

この製品には保証書がついておりますので、お買い上げの販売店よりお受け取りください。お受け取りになった保証書は、記載内容および「販売店、お買い上げ年月日」などの記入事項をお確かめのうえ、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げの販売店にお申し出ください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービスについて

●調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書をよくご覧になり正しく使われているかお調べください。それでも調子が悪いときは、お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

●保証期間中は

保証書の記載内容に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。

●保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理させていただきます。お買い上げの販売店、または弊社修理ご相談センターにご相談ください。

○OHM 株式会社 オーム電機
〒342-8502 埼玉県吉川市旭3-8
<http://www.ohm-electric.co.jp>

修理に関するご相談は 修理ご相談センターへ

電話受付 048-992-3970 平日 9:00~17:00
※土曜・日曜・祝日及び年末年始は除きます

製品に関するお問い合わせは お客様相談室へ	
●通話料無料	●携帯・IP・公衆電話からは
0120-963-006	048-992-2735

AudioComm®

取扱説明書

ワイヤレスステレオスピーカー

型 番 ASP-W500N

品 番 03-3149



このたびは、AudioComm®ワイヤレスステレオスピーカーをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。

この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。なお、お読みになられた後は、ご使用時にいつでも見られますよう大切に保管してください。

目 次

免責事項	1
安全上のご注意	2~6
Bluetooth 無線技術について	7~8
各部の名称	9
電源について	10
現在の時刻を設定する	11
ディスプレイの明るさを調節する	11
ラジオを聞く	12~13
Bluetoothで音楽を聞く	14~15
外部機器と有線接続してスピーカーとして使う	16
スマートフォンを充電する	17~18
アラームの使いかた	19~20
故障かなと思ったら	20~21
主な仕様	22
お手入れのしかた	裏表紙
保証書とアフターサービスについて	裏表紙

免責事項

下記の事項につきましては弊社は一切の責任を負いかねます。

- 弊社の責任によらない製品の損傷や破損、または改造による故障や不具合
- 本製品によって生じたデータやプログラムの消失または破損
- 本製品のために費やした時間及び経費
- 本製品を運用した結果もたらされた損害
- 本製品によりもたらされた直接的、間接的な効果及び利益の損失
- 本製品をご使用になって生じたあらゆる結果、及び直接的、間接的なシステム、機器及びその他の異常

安全上のご注意

電気製品は間違った使いかたをすると火災や感電による人身事故につながる可能性があります。このような事故を防ぐために、この取扱説明書をよくお読みになり、注意事項を必ずお守りください。注意事項は、取り扱いを誤った場合に予想される事故の大きさによって3段階で表示しています。

絵表示について

この取扱説明書では、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の方への危害や財産への損害を未然に防止するためにいろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。

 **危険** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、火災、感電、破裂などにより死亡したり、大けがなどを負う可能性が想定される内容です。

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、感電やその他の事故によりけがをしたり、周辺の家財に損害を与える可能性が想定される内容です。

絵表示の使用例

 **△**記号は注意(危険、警告を含む)を促す内容があることを告げるものです。左図の場合は「感電注意」が描かれています。

 **○**記号は禁止の行為であることを告げるものです。左図の場合は「分解禁止」が描かれています。

 **●**記号は行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。左図の場合は「ACアダプターを家庭用コンセントから抜く」が描かれています。

!**警告**



万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常を感じたら、すぐに本機の電源を切り、必ずACアダプターを家庭用コンセントから抜く
●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
●煙が出なくなるのを確認して販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。

⚠ 警告



万一、内部に異物や水などが入った場合は、
ACアダプターを家庭用コンセントから抜く
 ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 ●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。



ACアダプターはすぐに手が届く位置にある家庭用コンセントに接続し、
異常が発生した場合は速やかにACアダプターを家庭用コンセントから抜く
 ●手が届きにくい場所にあると、異常があったときに対応が遅れるおそれ
があります。
 ●本機の電源を切つただけでは、完全に電力を遮断できません。



雷が鳴り始めたら、安全のため、本機及びACアダプターに触れない
 ●感電のおそれがあります。



本機を分解、修理、改造しない
 ●火災・感電の原因となります。



水のかかる場所や湿気のある場所で使わない
 ●感電や故障の原因となります。



ACアダプターのコードが傷んだら(芯線の露出、断線など)、
使用を中止する
 ●そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
 ●販売店または弊社お客様相談室までご連絡ください。



心臓ペースメーカーを使っているときは装着部位から22cm以上離す
 ●電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。
 ●使用中に気分が悪くなったら、ただちに使用を中止して医師に相談してください。



乾電池は幼児の手の届かないところへ置く。本機から乾電池を取り外した
場合は、小さなお子様が誤って飲み込むことがないようにする
 ●万一、お子様が飲み込んだ場合には、ただちに医師に相談してください。

⚠ 警告



海外では使用しない。自動車・船舶などの直流DC電源には接続しない
 ●火災の原因となります。
 ●この機器を使えるのは日本国内のみです。

高精度の制御機器や電子機器の近くで使用しない

●電子機器が誤作動するおそれがあります。
 ●機器例：医用電気機器、火災報知器、自動ドアなど。特に医用電気機器
をお使いの場合は、事前に必ず当該機器メーカー・販売業者などに、電
波による影響についてご確認ください。

本機にアルミなどのシールや金属製のものを付けない

●発熱や発火のおそれがあります。

付属のACアダプター以外のACアダプターを使わない。
 また、付属のACアダプターを他の製品に使わない
 ●火災ややけど、故障の原因となります。

本機及びACアダプターの端子部をショートさせない

●火災ややけど、けが、故障の原因となります。

ACアダプターのコードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、
ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしない
 ●コードが破損して火災・感電の原因となります。

表示された電源電圧交流100ボルト以外の電圧で使用しない

●火災・感電の原因となります。

本機やACアダプターの上に重いものをのせたり、
ACアダプターのコードの上に本機をのせない
 ●コードに傷がついて火災・感電の原因となります。

ACアダプターのコードを敷物などで覆わない

●気づかず重いものをのせてしまい、火災・感電の原因となります。

本機の上に、例えば火のついたロウソクなど、
火災の原因となるようなものを置かない

本機の上に花瓶などの水が入ったものを置かない
 ●火災・感電の原因となります。

⚠ 注意



濡れ手禁止

- 濡れた手でACアダプターを抜き差ししない
●感電の原因となることがあります。



音量に注意

- 音量を上げすぎない
●周囲の迷惑になったり、聴覚に悪い影響を及ぼすことがあります。



コンセントから抜く

- 旅行などで長期間使わないときは、必ずACアダプターを家庭用コンセントから抜き、乾電池も取り外す
●火災の原因となることがあります。

- 移動させるときやお手入れの際は、安全のためACアダプターを家庭用コンセントから抜く
●感電の原因となることがあります。



禁止

- 電磁波を発生させる機器(テレビ、モニターなど)に近づけない
●電磁波により互いの機器が干渉し、ノイズや混信の原因となります。

- ACアダプターを抜くときは、コードを引っ張らない
●コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
●必ずプラグを持って抜いてください。

- 調理台や浴室、加湿器のそばなど、湯煙や湿気が当たるような場所に置かない
●火災・感電の原因となることがあります。

- ぐらついた台の上や傾いた場所など不安定な場所に置かない
●落ちたり、倒れたりしてけがをしたり、破損や故障の原因となります。

- ACアダプターのコードを熱器具に近づけない
●コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

- ほこりの多い場所に置かない
●火災・感電の原因となることがあります。

- お子様の手の届くところで使用したり、保管したりしない
●けがの原因となることがあります。

- 強い衝撃を与えたり、落としたり、投げたりしない
●故障や内部破損による発熱でやけどをしたり、けがの原因となります。

⚠ 注意



禁止

- 窓を開め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しない

- キャビネットや部品に悪い影響を与え、故障の原因となることがあります。



掃除をする

- Qi(無接点充電)規格に適合した機器以外のものを本機の上に置かない

- 発火や発熱、感電の原因になります。

- ACアダプターと家庭用コンセントの接続部を定期的に掃除する

- ACアダプターと家庭用コンセントの間にほこりがたまると自然発火(トランкиング現象)を起こすことが知られています。年に数回、定期的に接続部のほこりを取り除いてください。梅雨期前が効果的です。

乾電池を安全にお使いいただくために

液もれ、発熱、破裂などの事故を防ぐために、以下のことをお守りください。

⚠ 警告

- ・火中への投入、加熱、分解をしない
- ・取り外した乾電池を幼児に触らせない
- ・ショートさせない
- ・直射日光や火などの過度の熱にさらさない

⚠ 注意

- ・⊕の表示どおりに入れる
- ・指定以外の乾電池を入れない
- ・使用推奨期限内の乾電池を使う
- ・古い乾電池と新しい乾電池、マンガンとアルカリなど種類の異なる乾電池と一緒に入れない
- ・使い切った乾電池はすぐに取り出す
- ・しばらく使わないときは乾電池を取り外しておく

- 万一、液もれしたら、液をよく拭き取ってください。また、液が皮膚や衣類に付着した場合はすぐに大量の水で洗い流してください。

- 万一、もれた液が目に入ったときは、失明の原因となるので、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、ただちに医師に相談してください。

- 使用済みの乾電池を廃棄する場合、自治体の条例などで決まりがあるときにはそれに従って廃棄してください。

Bluetooth無線技術について

Bluetoothとは

Bluetoothは、パソコンやオーディオシステム、デジタルカメラなど、比較的距離の短いデジタル機器間で通信を行なう無線技術です。USBやオーディオケーブルで2つの機器間をつなぐ必要がなく、本機の場合、近距離（最大約10m以内）であれば、どこにいても無線通信により音楽や通話を楽しむことができます。

※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、当社はライセンスにもとづき使用しています。

Bluetoothの対応バージョン及びプロファイル

Bluetoothは世界標準規格によって、特性・機能ごとに対応バージョンとプロファイルが規定されています。本機は、以下のバージョン及びプロファイルに対応しています。なお、本機のご利用にあたっては、通信相手となるBluetooth機器においても、以下に挙げるいずれかのプロファイルに対応している必要があります。

※Bluetooth機器側が同じプロファイルに対応していても、本機の性能・機能が制限される場合があります。

【対応バージョン】 Bluetooth標準規格 Ver.4.2

【対応プロファイル】

- ・A2DP(高音質な音楽コンテンツを受送信するためのプロファイル)
- ・AVRCP(再生、一時停止などオーディオ機器を操作するためのプロファイル)

●本機はすべてのBluetooth対応機器との接続動作を保証するものではありません。

通信可能範囲について

本機の通信可能範囲は最大約10mですが、人体、壁、金属などの障害物の有無や電波状態によって有効範囲が変化します。できるだけ障害物がない空間でご使用ください。

セキュリティーについて

本機はBluetooth通信時のセキュリティーとして、標準規格に準拠したセキュリティー機能を有していますが、設定内容などによっては十分に対応できないおそれがあります。万一、情報漏洩などが発生しても、弊社としては一切の責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

本機の機器認定について

本機は電波法にもとづく小電力データ通信システムの無線設備として認証を受けていますので、ご使用にあたって無線局の免許は必要ありません。ただし、本機を分解・改造する行為、本機に貼つてある定格銘板を消したりはがしたりする行為は、法律により罰せられことがあります。

本製品は日本国内でのみ使用できます。

使用周波数と注意事項

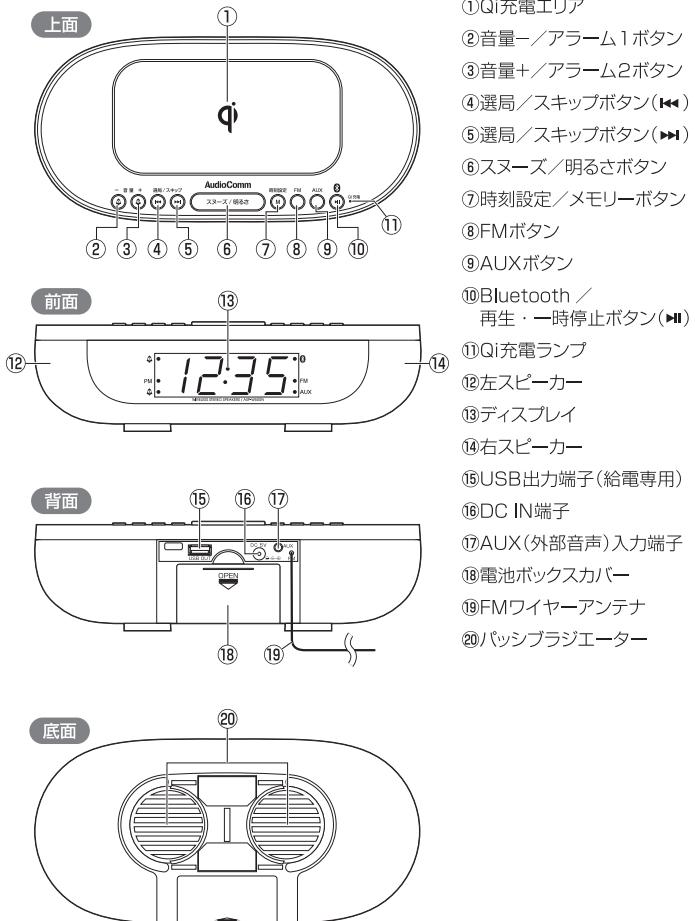
本製品の使用周波数帯(2.4GHz帯)では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局(免許が必要)、特定小電力無線局(免許が不要)、及びアマチュア無線局(免許が必要)が運用されています。

- 1.ご使用の前に、近くで移動体識別用の構内無線局、特定小電力無線局、及びアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 2.本製品の使用により、万一、移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の電源を切ってください。そのうえで弊社お客様相談室（裏表紙）にご連絡いただき、混信回避のための処置（例えばパーティションの設置など）についてご相談ください。
- 3.そのほか、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉が発生した場合やご不明点がございましたら、弊社お客様相談室（裏表紙）までお問い合わせください。

医療機器の近くで使用する際は、特に注意してください。

- 病院内など無線機器の使用を禁止された区域では、本機の電源を切ってください。また、無線機器の使用が制限された区域では、施設管理者などに確認のうえ使用してください。他の機器に悪影響を与えたり、事故の原因となります。
- 医療機器及び人命に直接的または間接的に関わるシステム、高い安全性や信頼性が求められる環境下では絶対に使用しないでください。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している場合は、装着部から本機を22cm以上離して携行及び使用してください。電波によりペースメーカー及び除細動器の動作に影響を及ぼすおそれがあります。
- 混雑している場所では、周囲に植込み型心臓ペースメーカーまたは植込み型除細動器を使用している人がいる可能性がありますので、ご使用の際は十分にご注意ください。
- 医療機関内では次のことを守ってください。
 - ・手術室、集中治療室(ICU)、冠状動脈疾患監視病室(CCU)には持ち込まない。
 - ・病棟内では本機を使わない。
 - ・ロビーなどでも、周囲に医療機器がある場所では電源を切る。
 - ・その他、医療機関による使用制限や使用禁止指示は必ず守る。
- 植込み型心臓ペースメーカー、または植込み型除細動器を装着している方で、自宅などでの療養中の方は、本機をご使用になる前に、電波による影響について個別に医療機器メーカーなどにご確認ください。電波により医療機器の動作に影響を与えるおそれがあります。

各部の名称

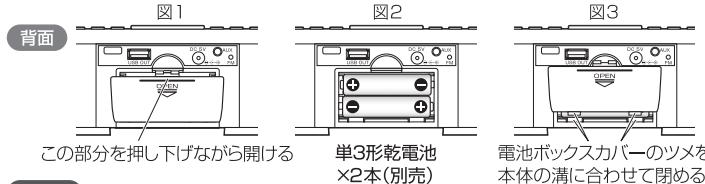


電源について

時計バックアップ用乾電池を入れる

時計バックアップ用乾電池を入れておくと、ACアダプターを取り外したときや停電時でも時刻設定を保持します。

- 1 電池ボックスカバーの上部を押し下げながら手前に開け、取り外します(図1)。
- 2 単3形乾電池×2本(別売)を⑪の向きに注意しながら入れます(図2)。
金属製の平端子のあるほうが⑪です。⑪側から先に入れてください。
- 3 電池ボックスカバーのツメを本体の溝に合わせ、元どおりにしっかりと閉めます(図3)。

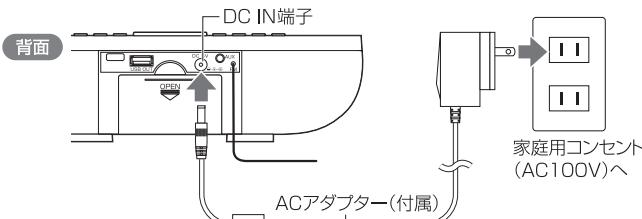


ご注意

時計バックアップ用乾電池は、時刻設定を内部保持するためのものなので、時計バックアップ用乾電池を入れただけでは時刻は表示されません。

ACアダプターを接続する

付属のACアダプターを使って、背面のDC IN端子と家庭用コンセントを接続します。接続すると時刻表示が点滅しますので、現在の時刻を設定してください(P.11参照)。



ご注意

付属のACアダプターは本製品専用です。本製品をご使用の際には必ず付属のACアダプターをお使いください。また、付属のACアダプターは絶対に他の製品には使用しないでください。製品の破損、もしくは火傷・発煙・火災の原因となる場合があります。

現在の時刻を設定する



1 時刻設定／メモリーボタンを長押しします。

「24H」または「12H」が表示されます。

「24H」…24時間表示 「12H」…12時間表示

2 選局／スキップボタン(◀▶)を押して

表示形式を選び、

時刻設定／メモリーボタンを押します。

時刻設定／メモリーボタンを押すと「時」表示が点滅します。

3 選局／スキップボタン(◀▶)を押して

「時」を選び、時刻設定／メモリーボタンを押します。

12時間表示形式を選んだときは、午後の時間帯になると、PMランプが点灯します。

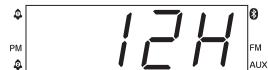
選局／スキップボタン(◀▶)を長押しすると、数字が早く送られます。

時刻設定／メモリーボタンを押すと「分」表示が点滅します。

4 選局／スキップボタン(◀▶)を押して

「分」を選び、時刻設定／メモリーボタンを押します。

時刻設定／メモリーボタンを押すと設定が確定して点滅が止まります。



ヒント

何も操作しない時間が4~5秒間続くと、それまでの内容で設定が確定し、点滅が止まります。修正するときは最初からやり直してください。

ディスプレイの明るさを調節する

スヌーズ/明るさ

アラームが起動していないときにスヌーズ／明るさボタンを長押しすると、ディスプレイ表示の明るさを切り換えることができます(2段階)。

ラジオを聞く

本機はFM放送専用です。AM放送は受信できません。



1 FMボタンを押します。

ラジオモードで電源が入り、FMランプが点灯します。

2 選局／スキップボタン(◀▶)を押して

お聴きになりたい放送局の周波数に合わせます。

選局／スキップボタン(◀▶)を長押しすると、周波数が自動で送られ、いちばん最初に受信できました放送局で止まります。

周波数表示の後、約3秒経つと現在の時刻を表示します。

3 音量-/アラーム1ボタンと音量+/アラーム2ボタンで、音量を調節します。

音量の上げすぎにご注意ください。

音量レベルは約2秒間表示されます。

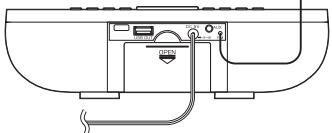
4 終了するときはFMボタンを押します。

電源が切れ、時刻表示になります。



テープなど
で留める

FMワイヤーアンテナ



ヒント

受信状態を良くするには：FMワイヤーアンテナを伸ばし、最も良く聞こえる場所にテープなどで軽く留めます。

ラジオを聴く(つづき)

FM補完放送「ワイドFM」について

本機はFM周波数域が76~108MHzまであり、FM補完放送「ワイドFM」に対応しています。FM補完放送「ワイドFM」とは、AM放送局の放送区域において難聴対策や災害対策のために新たにFM放送用に割り当てられた90.1~94.9MHz周波数域を用いて補完的にAM番組を放送することです。

FM補完放送「ワイドFM」の開始時期、放送局、使用周波数、聴取可能エリアなどは地域により異なります。詳細は各地域のラジオ局ホームページなどをご覧ください。

受信可能な放送局を自動で一括登録するには(オートスキャン)



ラジオモードでFMボタンを長押しすると、周波数が自動で送られ、受信可能な放送局を順に登録していきます(最大29局)。

- 受信可能な放送局が見つかると、一時的にラジオ音声が流れ、P01、P02などのプリセット番号が表示されます。
- オートスキャンが終わると、P01に登録された放送局を受信します。

ヒントとご注意

- 登録された放送局を選ぶには、時刻設定／メモリーボタンを押した後、選局／スキップボタン(◀◀／▶▶)でプリセット番号を選んでください。
- あらかじめ手動でメモリー登録してある場合、オートスキャンを行なうと、登録内容が上書きされることがありますのでご注意ください。

よく聴く放送局を手動でメモリー登録するには

- 1 登録したい放送局を受信している状態で、時刻設定／メモリーボタンを長押しします。プリセット番号が点滅します。

- 2 必要に応じて選局／スキップボタン(◀◀／▶▶)を押して登録したいプリセット番号を選び、時刻設定／メモリーボタンを押します=登録完了。時刻設定／メモリーボタンを押さずにいた場合も、しばらくすると設定が確定します。

ヒントとご注意

- 登録された放送局を選ぶには、時刻設定／メモリーボタンを押した後、選局／スキップボタン(◀◀／▶▶)でプリセット番号を選んでください。
- オートスキャンを行なった後、手動でメモリー登録をすると登録内容が上書きされます。



Bluetoothで音楽を聴く

ペアリング(初期登録)のしかた

ペアリングとは、本機を外部スピーカーとして使用する相手側のBluetooth機器(相手側機器：スマートフォンやBluetooth対応ワイヤレス音楽プレーヤーなど)に本機を初期登録する操作のことです。はじめて使うときは必ずペアリングを行なってください。

- 1 本機の電源が切れていることを確認し、手元に本機と相手側機器を用意します。両機器の間には障害物を置かず、1m以内にしてください。相手側機器は電源が入った状態にしてください。



- 2 Bluetooth／再生・一時停止ボタンを押します。

Bluetoothモードで本機の電源が入り、「bt」が表示されます(「bt」はすぐに時刻表示になります)。Bluetoothランプがゆっくり点滅し、しばらくすると速い点滅に変わります。Bluetoothランプが早く点滅しているときは、サーチモード(相手側機器を探している状態)であることを示します。



- 3 相手側機器で本機を登録してください。

Bluetooth機器の登録画面を開く

各機器付属の取扱説明書を参照してBluetooth機器の検索・登録画面へ進んでください。

本機を登録する

相手側機器の登録画面で、本機の名称「ASP-W500N」が表示されたら、それを選択して登録します。パスキーPINコードを求められた場合は「0000」と入力してください。

※機種によってはご自身で設定したパスコードが必要な場合があります。

登録が完了すると

電子音が流れ、Bluetoothランプが点滅から点灯に変わります。その後、相手側機器で再生などの操作を行なってください。

Bluetoothで音楽を聴く(つづき)

ヒントとご注意

- サーチモードのまま約3分間経過すると、本機の電源は自動的に切れます。
- 対応プロファイル：本機はBluetooth標準規格Ver.4.2(プロファイル：A2DP、AVRCP)に対応しています。複数のプロファイルに対応している機器の中には、プロファイルの選択が必要な機種もあります。その場合は、上記のいずれかを選択してください。上記以外のプロファイルでの動作は保証しかねます。
- 接続しようと思っている相手側機器が他の周辺機器とBluetooth通信を行なっているときは、本機とのペアリングができないことがあります。その際は、他機との接続を解除したうえで本機とのペアリングを行なってください。
- 最後に使用した相手側機器の電源が入っており、Bluetooth機能も有効なときは、Bluetoothモードにて本機の電源を入れると自動的に接続されます。
- 一度登録後、ご使用中に接続がうまく行かなくなったり、正常に動作しなくなったりときは：
 - ・Bluetooth／再生・一時停止ボタンを長押しして本機の電源を切り、しばらくしてから入れ直してみてください。また、相手側機器のBluetooth設定画面を開き、本機との接続を確認してください(接続中の状態にあるときは、いったん解除した後、もう一度接続してください)。
 - ・上記を試しても正常に戻らない場合は、相手側機器で本機の登録を削除し、改めてペアリングし直してください。

本機での再生操作

Bluetoothで接続しているときの主なボタン機能は、以下の通りです。ただし、接続する機器によっては、動作しなかったり、動作が異なる場合があります。



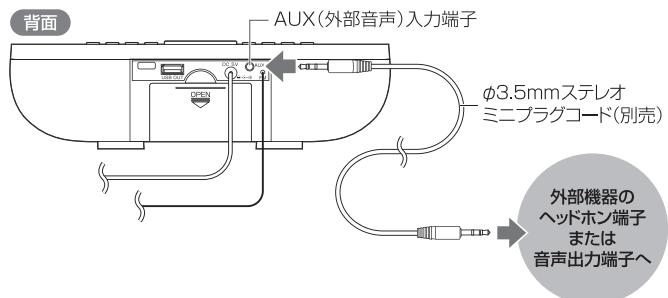
ヒントとご注意

- 操作から本機が反応するまでに多少時間がかかる場合があります。
- 再生を終了し本機の電源を切るときは、必ずBluetooth／再生・一時停止ボタンを長押ししてください。再生を止めただけでは、本機の電源は切れません。
- 電話着信に対応した通話機能はありません。音楽再生中に着信があると再生が中断しますので、スマートフォン側で電話に出るなどの操作をしてください。通話を切ると再生を再開します。

外部機器と有線接続してスピーカーとして使う

Bluetoothに対応していない機器の場合は、本機のAUX(外部音声)入力端子と外部機器のヘッドホン端子、または音声出力端子をφ3.5mmステレオミニプラグコード(別売)で接続することで、本機をスピーカーとして使うことができます。

- 1 双方の電源が切れている状態で、下図を参照して接続します。



- 2 外部機器の電源を入れた後、本機のAUXボタンを押します。

AUXランプが点灯し、外部音声入力モードで本機の電源が入ります。ディスプレイ表示は、「AU」の後、時刻表示になります。



- 3 外部機器側で再生などの操作をします。

音量操作は本機と外部機器のどちらでも可能ですが、本機側で過度に大きとした場合、他のモードに移行時、大音量を発する場合がありますので十分ご注意ください。

- 4 終了するときは、AUXボタンを押して電源を切ります。
外部機器の電源も切ったうえで、接続を解除してください。

スマートフォンを充電する

本機では、Qi(無接点充電)またはUSB有線接続の2つの方法で、スマートフォンを充電することができます。

Qi(無接点充電)規格について



このマークが付いている製品は、ワイヤレスパワーコンソーシアム(WPC)による無接点充電規格に適合していることを示しています。本製品は、このマークがあるスマートフォンなどの充電式機器をQi充電エリアに置くだけで充電することができます。

- ご注意** 本機は、ワイヤレスパワーコンソーシアム(WPC)が定める無接点充電規格に適合しておりますが、すべての同規格機器への給電を保証するものではありません。

Qi対応機器の充電方法

Qi充電エリアの中央部(Φのマークが目印)に充電したい機器を置いてください。

- 給電が始まると、本機のQi充電ランプが点灯します。
- 充電の開始及び充電状況は、充電する機器側の表示をご確認ください(フル充電に達してもQi充電ランプは消灯しません)。
- 充電に要する時間は機器によって異なります。



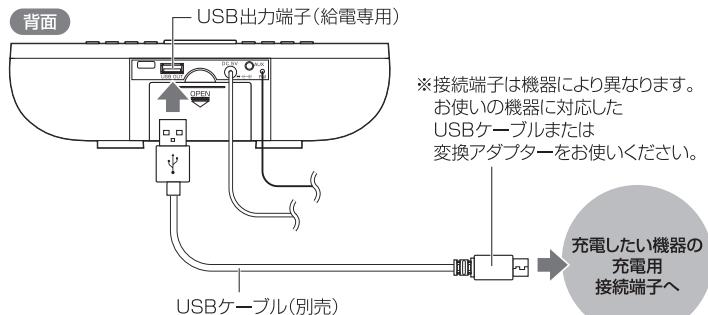
ヒントとご注意

- ラジオモードにて電源が入っているときは充電できません。
- 充電する機器の位置がQi充電エリアからずれていると充電が始まらないことがあります。また、スマートフォンの場合はディスプレイ面を上にして置いてください。
- 本機の給電能力(DC5V 1A)を超える機器の場合、充電が始まらない、または充電時間が長くなることがあります。充電する機器の仕様をご確認ください。
- 2台以上の機器を同時に充電することはできません。
- スマートフォンをケース類に入れている場合、ケースの素材や厚みによっては正常に充電できない場合があります。その場合はケースから取り出して充電してください。
- 本機のQi充電エリアにQi対応機器以外のものを置かないでください。
- 充電中及び充電直後に、本機やQi対応機器が熱を帯びることがあります。異常や故障ではありません。

USBケーブルを使った充電方法

Qi非対応のスマートフォンなどは、USBケーブル(別売)を使い、本機背面のUSB出力端子(給電専用)と接続することで充電できます。

- 充電の開始及び充電状況は、充電する機器側の表示をご確認ください。
- 充電に要する時間は機器によって異なります。



ご注意

本機のUSB出力端子は給電出力専用です。音楽再生機器などは絶対に接続しないでください。機器や音楽データが破損するおそれがあります。

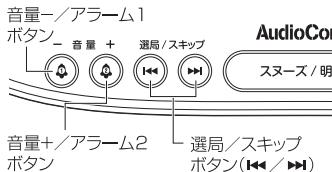
アラームの使いかた

本機にはアラームが2つあります(アラーム1とアラーム2)、それぞれ電子音またはラジオを起動音として設定できます。本書ではアラーム1に対する設定・操作方法(音量-/アラーム1ボタンを使用)を説明します。アラーム2に設定したい場合は、文中のアラーム1をアラーム2に、音量-/アラーム1ボタンを音量+/アラーム2ボタンに読みかえて操作してください。

設定のしかた

ご注意

- 電源が切れている状態で操作してください。
- アラーム起動時の音量は、最後に電源を切ったときの音量となります。事前に試して、適切に設定してください。
- 起動音としてラジオを設定したいときは、あらかじめその放送局を受信したあとで電源を切り、以下の操作をしてください。



① 音量-/アラーム1ボタンを長押しします。

アラーム1ランプが点灯し、「0:00」の「時」表示が点滅します。

② 選局/スキップボタン(◀/▶)を押して

アラームを起動したい「時」を選び、音量-/アラーム1ボタンを押します。

③ 選局/スキップボタン(◀/▶)を押して

アラームを起動したい「分」を選び、音量-/アラーム1ボタンを押します。

④ 選局/スキップボタン(◀/▶)を押して

起動時の音源を選び、音量-/アラーム1ボタンを押します。

「bUZ」…ブザー音 「rAd」…ラジオ

音量-/アラーム1ボタンを押すと、設定が確定します。アラーム設定が有効なときは、アラーム1ランプが点灯します。



ヒントとご注意

- 何も操作しない時間が4~5秒間続くと、それまでの内容で設定が確定し、設定操作が終了します。この場合でも設定時刻になるとアラームが起動しますのでご注意ください。
- アラームを解除するには、音量-/アラーム1ボタンを2回押して、アラーム1ランプを消してください。

アラームが鳴ったら

アラームを止めるには：スヌーズ／明るさボタン以外のボタンを1回押してください。ただし、このままでアラーム1ランプが点灯した状態が続き、翌日の同じ時刻に再びアラームが鳴ります。設定自体を解除するには、音量-/アラーム1ボタンを2回押して、アラーム1ランプを消してください。

スヌーズ機能について：アラームが鳴っているときにスヌーズ／スリープボタンを押すと、一時的にアラーム音が停止します。一時停止中はアラーム1ランプが点滅し、そのまま約9分間経過すると再度鳴ります。

ご注意

アラームが鳴ったまま何も操作しないと約50分間鳴り続けますのでご注意ください(約50分が経過するとアラームは止まりますが、アラーム1ランプが点灯した状態が続き、翌日の同じ時刻に再びアラームが鳴ります)。

故障かなと思ったら

	症 状	チェック項目
共通	電源が入らない	<ul style="list-style-type: none">・ACアダプターが正しく接続されていますか。・接続部がゆるんでいませんか。
	音が出ない	<ul style="list-style-type: none">・音量が最小になってしまいませんか。・違うモード(ファンクション)になってしまいませんか。
	ディスプレイが暗い	<ul style="list-style-type: none">・スヌーズ／明るさボタンで調整してみましたか。
ラジオ	雑音が入る	<ul style="list-style-type: none">・近くで携帯電話を使用していませんか。携帯電話から離してください。・受信する場所やFMワイヤーアンテナの向き、設置場所を変えてみてください。
	ペアリングができない	<ul style="list-style-type: none">・相手側機器の電源は入っていますか。・相手側機器は本機のプロファイルに対応していますか。・相手側機器との間に障害物があつたり、双方の距離が離れすぎていませんか。

故障かなと思ったら(つづき)

	症 状	チェック項目
B L U E T O O T H	Bluetooth接続ができない 音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・本機及び相手側機器の電源は入っていますか。 ・違うモード(ファンクション)になっていませんか。 ・相手側機器が他の機器と通信していませんか。 ・相手側機器がスリープ状態になっていませんか。 ・相手側機器で本機の登録が削除されていませんか。
	音が途切れる、ノイズやエコー音がする	<ul style="list-style-type: none"> ・相手側機器との間に障害物があつたり、双方の距離が離れすぎていませんか。 ・周囲に無線LAN機器や電子レンジなど、電波を発する機器がありませんか。Bluetooth対応のマウスやキーボードを使用していませんか。 ・周囲に無線機を使う施設や放送局がありますか。
外部音声入力	外部機器の音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ・違うモード(ファンクション)になっていませんか。 ・φ3.5mmステレオミニプラグコードが双方の機器に正しく接続されていますか(ゆるんでいませんか)。 ・外部機器の音量が最小または消音になっていますか。
給電(充電)	Qi充電が始まらない	<ul style="list-style-type: none"> ・ラジオモードになっていませんか(ラジオモードではQi機器の充電はできません)。 ・充電しようとしている機器はQi規格に適合していますか。 ・充電エリアの中心に機器を置いていますか。 ・機器を裏返しにして置いていませんか。 ・厚かつたり、給電を妨げる素材を使ったケース類に入れたまま本機に載せていませんか。 ・本機と充電する機器の間に異物がありませんか。
	充電に時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> ・本機の規格外の機器を充電しようとしていませんか。
	USB充電ができない	<ul style="list-style-type: none"> ・USBケーブル(別売)は機器に合ったものを使っていますか。 ・接続端子が双方の機器に正しく接続されていますか(ゆるんでいませんか)。
アラーム	アラームが機能しない	<ul style="list-style-type: none"> ・起動時刻を正しく設定しましたか。 ・音量が最小のまま設定しませんでしたか。
	意図しない時刻にアラームが鳴る	<ul style="list-style-type: none"> ・午前と午後を間違えて設定していませんか。 ・アラーム1とアラーム2を取り違えて設定していませんか。
	アラーム音(ラジオ)が大きい／小さい	<ul style="list-style-type: none"> ・アラーム設定直前に使っていたときの音量設定が大きすぎ(小さすぎ)ではありませんか。

主な仕様

電源	AC100V 50／60Hz(付属ACアダプター使用) 付属ACアダプター定格：5V 3A ⊕●⊕ 時計バックアップ用乾電池：DC3V(単3形乾電池×2本：別売)
消費電力	15W
最大出力	1.5W×2
スピーカー	口径45mmスピーカー(4Ω)×2 パッシブラジエーター2基搭載
受信周波数	FM：76～108MHz(FM補完放送「ワイドFM」対応)
アンテナ	FMワイヤーアンテナ
Qi規格	Qi Ver.1.2.3(給電出力：最大10W)
USB給電出力	DC5V 1A
通信方式	Bluetooth標準規格 Ver.4.2
対応プロファイル	A2DP、AVRCP
変調方式／周波数帯域	FHSS／2.402～2.480GHz
最大通信距離	見通し約10m(Class2)
許容動作温度／湿度	温度：0～40℃ 湿度：20～80%(結露なしにて)
接続端子	電源：DC IN端子
	給電：USB端子
	外部音声入力：φ3.5mmステレオミニジャック
外形寸法	幅234.5×高さ67.5×奥行111.9mm(突起物を除く)
質量	約590g(時計バックアップ用乾電池を除く)
時計精度	月差約30秒
付属品	専用ACアダプター、保証書、取扱説明書

※本製品のラジオ受信機能はFM受信専用です(AMは受信できません)。

※仕様及び外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

※本書で使用するイラストは、実際の製品と一部外観が異なる場合があります。

※Bluetooth及びBluetoothロゴマークは、Bluetooth SIG,INC.の商標で、当社はライセンスにもどづき使用しています。

※最大通信距離は目安であり、使用状況によって異なります。

※Qi及びQiマークはワイヤレスパワーコンソーシアム(WPC)の商標です。

※本書に記載しているシステム名、製品名は、一般に各社の商標または登録商標です。